

tria®

TRIA 4X

取扱説明書

スキントーンチャート

肌の色をチェックして、トリア 4Xを安全に使用できることを確認してください。お手入れ対象部分の肌をこのスキントーンチャートと比較します。「使用できない肌の色」と一致する場合は、トリア 4Xを使用しないでください。

対象となる肌の色:



使用できない肌の色:



対象部位:

脚、腕、ピキニライン、ワキ、足、手、胸、背中、腹部、顔の下半分(鼻より下部分)

ご使用前に以下をお読みください。

トリア 4Xをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- トリア 4X使用の対象となる方
- トリア 4Xの使い方
- 最適なお手入れ間隔
- 効率のよい使用方法
- 禁忌・警告(以下の記号で示す)について復習する

 この記号は警告を示すものです。警告と安全に関する情報は、必ずすべてお読みになり、遵守してください。

今後の参考のために、この取扱説明書は大切に保管してください。ご不明な点等ございましたら、電話もしくはEメールでお問い合わせいただくか、ウェブサイトをご覧ください(裏表紙を参照)。

目次

はじめに	3
トリア 4Xについて	4
トリア 4Xを使用できない方は?(禁忌)	6
警告	7
効果とリスク	10
トリア 4Xの使い方	12
定期的に使用していくと	13
初めてご使用になる前に	14
毎回のご使用前に	16
ご使用方法	17
男性のムダ毛ケアについて	20
トリア 4Xのクリーニング方法	21
故障かな?と思ったら	22
トリア 4Xの仕様	25
お手入れの記録	26

このたびはトリア 4Xを
ご購入いただき、誠にありがとうございます。

トリア 4Xは手軽に顔や体のムダ毛のお手入れができます。
トリア 4Xは、クリニックと同等の技術を応用し、
たった3ヶ月でスベスベな肌を実感できます。

では早速使ってみましょう。

はじめに

レーザー脱毛のメカニズムについて

トリア 4Xは生まれつき使用箇所の毛が茶色または黒の方にご使用いただけます。

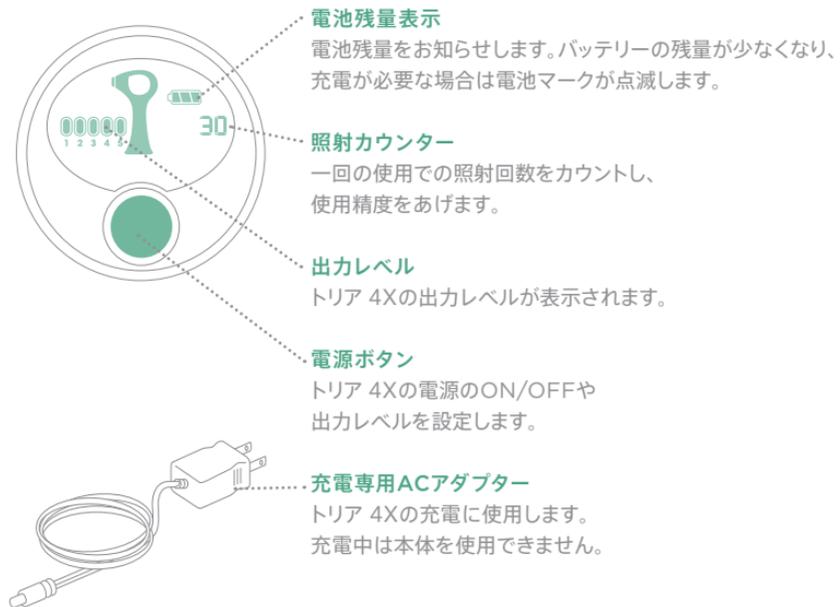
トリア 4Xの効果を最大限得るには、ムダ毛が成長期にある時に使用する必要があります。毛は抜けては生えることを繰り返しているため、定期的なムダ毛のお手入れが必要です。最適な効果を得るためには、満足する結果が得られるまで3ヶ月間は2週に1度ご使用いただくことをお勧めします。

トリア 4Xについて

トリア 4X



ディスプレイ表示



トリア 4Xを使用できない方は？ (禁忌)

本書の表紙の裏側にある「スキントーンチャート」の「使用できない肌の色」と一致する場合は、トリア 4Xを使用しないでください。「使用できない肌の色」にトリア 4Xを使用すると、レーザーを過剰に吸収し、火傷、変色など皮膚を傷めることがあります。

18歳未満の方：18歳に満たない方はトリア 4Xをご使用にならないでください。トリア 4Xのお子様への使用については研究が行われておらず、大怪我をする恐れがあります。

ブロンド、白、赤、またはグレーなど、毛の色が明るい方は、トリア 4Xを使用しないでください。レーザーが機能するためには、お手入れ箇所の生まれつきの毛の色が濃くなければなりません。色素の薄い毛ではレーザー波長を十分に吸収することができません。

警告

⚠ トリア 4Xは目・眉毛・まつげ等の 目元には使用しないでください。目に重大な傷害を起こす恐れがあります。

⚠ 「スキントーンチャート」でお肌の色が使用に不適切と判断した場合は、トリア 4Xを使用しないでください。祖先がアフリカ系、インド系、ネイティブアメリカン系、太平洋諸島系の方は、本製品の使用に適さない肌の色の場合があります。必ず「スキントーンチャート」でご確認ください。肌の色が濃いとレーザーを過剰に吸収し、皮膚を傷めることがあります。

⚠ トリア 4Xは耳、乳首・乳輪、性器、肛門の周囲には使用しないでください。このような箇所の皮膚は敏感で色が濃く、毛の密度も濃いことが多いため、トリア 4Xを使用すると皮膚を傷つける場合があります。

⚠ 人によってはレーザー脱毛により毛の成長が促進される場合があります。現存のデータによると、そのような反応を起こす可能性のあるのは、地中海、中近東、南アジアの女性の顔や首をお手入れした場合です。

⚠ トリア 4Xを肌の色が平均的な他の箇所と比べて濃い部分の皮膚には使用しないでください。入れ墨(タトゥー)、暗褐色または黒色の斑点部分(大き目のそばかす、あざ、ほくろ等)や前回のお手入れにより赤くなったり腫れたりしている皮膚等がこれに該当します。色黒の肌はレーザーを過剰に吸収し、皮膚を傷めることがあります。

⚠️ 切り傷、ヘルペス、日焼け等のダメージを受けている皮膚、また過去6～8週間以内に皮がむけた場合、その他のリサーフェシング(フォトフェイシャル、ケミカルピール等)の施術を受けた場合にはトリア 4Xを使用しないでください。このような状態の皮膚は傷つきやすくなっています。

⚠️ 妊娠中や授乳中の方はトリア 4Xを使用しないでください。妊婦へのトリア 4Xの臨床試験は行っておりません。妊娠中や授乳中の方は精神的にも肉体的にもとてもデリケートなため、皮膚を傷つける場合があります。

⚠️ トリア 4Xが故障していると思われるときは、使用しないでください。また、トリア 4Xを解体したり、改造、修理しようとしたりしないでください。このような状態で使用されますと、レーザーによって皮膚や目を傷つける危険性が高まります。お客様サポートセンターまでご連絡ください。

⚠️ 電気製品を一般使用する際の安全に関する基本的な注意を必ずお守りください。トリア 4Xや充電専用ACアダプターを濡らしたりしないでください。入浴中にトリア 4Xを使用したり浴槽や洗面台の周辺に置いたりしないでください。充電専用ACアダプターの差込口やコードが破損している場合は、充電しないでください。熱を発するものの近くに本製品を置かないでください。上記の注意事項が守られなかった場合は、感電死や電気ショックの危険性があります。

⚠️ トリア 4Xをムダ毛のお手入れ以外の用途には使用しないでください。

⚠️ トリア 4Xは個人向けの製品です。トリア 4Xを、病院、クリニック、サロン、その他の業務用を使用することはできません。

⚠️ 将来、再び発毛を希望する箇所には、トリア 4Xを使用しないでください。脱毛効果は永続的で元に戻せない場合があります。

⚠️ レーザー照射について。光学機器を使って直視しないでください。クラス1レーザー製品です。

⚠️ 特定の光学機器(例:ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など)で100mm以内の距離でレーザー光線を見ると、目を傷つける恐れがあります。

⚠️ 警告:本機器に対する改造は認められていません。

効果とリスク

臨床試験により、指示通り使用した場合のトリア 4Xの安全性と効果が確認されています。

79名が6週間(3回)使用して、いずれも効果が確認されました。お手入れ箇所の毛の本数を使用前と、使用後1、2、3、12ヶ月後にカウントし、3回目の使用後には追加のお手入れを行いませんでした。

効果

指示通りに使用すると、トリア 4Xは満足する脱毛効果をご実感いただけるでしょう。人によって、お手入れ箇所、そしてどの程度指示に従って使用したのかによって効果は異なります。臨床試験では以下の効果が確認されました。

- 初回の使用から3週間後に毛の本数が平均で61%減少した
- 2回目の使用から3週間後に毛の本数が平均で70%減少した
- 3回目の使用から1ヶ月後に毛の本数が平均で60%減少した
- 3回目の使用から12ヶ月後に毛の本数が平均で33%減少した

臨床試験では、使用前に比べ、3回の使用終了1ヶ月後に87%(79人のうち69人)が、お手入れ前に比べて毛が気にならなくなったと報告されています。

たった3回の使用でこのような効果が得られました。最適な効果を実感するためには、満足する結果が得られるまで3ヶ月間は2週に1度ご使用いただくことをお勧めします。

トリア調べ。
本データは臨床試験に基づくものであり、効果効能には個人差があります。

リスク

 トリア 4Xは正しく使用することが大切です。必ず警告(本書7~9ページ)をすべてご理解いただき、それに従ってご使用ください。

トリア 4Xは説明通りにご使用いただければ低リスクです。

- 人によって初回のお手入れ中に軽度から中程度の痛みや不快感を感じる場合がありますが、定期的にご使用頂くうちにそのような痛みや不快感は次第に軽減されます。また、ほてり、ヒリヒリ感、チクチク感、かゆみを感じる場合があります。輪ゴムで皮膚をパチンとはじかれるようだという方もいます。痛みが強かったり、お手入れ終了後も痛みが持続する場合は、トリア 4Xの使用を中止し、医師にご相談ください。
 - 使用直後または24時間以内に皮膚が赤くなることがあります。この赤みは、通常数時間で消えます。赤みが2、3日以内に消えない場合は、本製品の使用を中止し、医師の診察を受けてください。
- トリア 4Xの臨床試験(88人のうち0人)では以

下の症状はまったく見られませんでした。他のレーザー脱毛器での報告があります。

- 皮膚の腫れ。特に毛穴周りの腫れが2、3日以内に消えない場合は、トリア 4Xの使用を中止し、医師の診察を受けてください。
- 一時的または長期的な肌の変色。肌の色が変色した場合は、トリア 4Xの使用を中止し、医師の診察を受けてください。
- 水疱(水ぶくれ)。色白または中くらいの肌色の方に起きる可能性は非常に低いものです。水疱(水ぶくれ)ができた場合はトリア 4Xの使用を中止し、水疱(水ぶくれ)が化膿しないようご注意ください。必要に応じて医師にご相談ください。

トリア 4Xの使い方

初めてご使用になる前に

- ご使用前の約6週間は、ワックス脱毛をしたり、毛を抜いたり、ケミカルピーリングをしないでください。
- お手入れの少なくとも1日前までに、トリア 4Xのテスト照射をして様子を見ます(本書15ページ参照)。

毎回のご使用時に

- トリア 4Xを充電します(本書14ページ参照)。
- 充電用ACアダプターを外します。
- 肌を洗ってムダ毛を剃り、タオル等で水気をふき取ります(本書16ページ)。
- トリア 4Xの電源をONにします(本書16ページ参照)。
- 出力レベルを設定します(本書17ページ参照)。

次のお手入れまでの間

- 毛を剃るのは問題ありませんが、ワックス脱毛をしたり毛を抜いたりしないでください。

続けましょう!

- お手入れ方法に従って続けて使用します。

最長3ヶ月、2週に1度のお手入れを続けることで、最適な効果をご実感いただけます。必要に応じて追加のお手入れを行ってください。

定期的を使用していくと

トリア 4Xの使用

- 人により、お手入れ箇所、出力レベルによって、使用感が異なります。輪ゴムで皮膚をパチンとはじかれるようだという方もいます。暖かい、チクチクするような感触だという方もいます。
- お手入れ箇所の毛の量が減ると、このような使用感も薄れます。このため、初回のお手入れ後は、より高い出力レベルを使用できる可能性があります。
- 時には軽い赤みが出る方もいますが、通常は24時間以内に消えます。

お手入れ後3ヶ月の間

- 初回のお手入れ後は、毛に大きな変化は見られません。レーザー脱毛ですぐに毛がなくなるわけではありません。
- 定期的にお手入れを続けるうちに、目に見えてムダ毛が気にならなくなったと実感します。

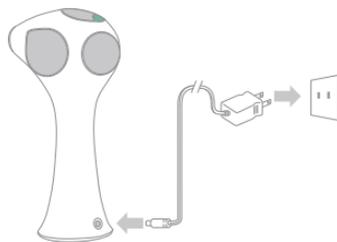
お手入れ後3ヶ月以降

- 継続してツルスベ肌を実感できます。
- 必要に応じて追加のお手入れを行ってください。

初めてご使用になる前に

トリア 4Xの充電

ご使用の2時間以上前にトリア 4Xの充電を開始します。電池マークが点滅しているのは充電が必要な合図です。この場合にも充電してください。大きな箇所照射する場合や、高い出力レベルで使用している場合はお手入れ途中で充電が必要になることがあります。



充電方法:

1. 充電専用ACアダプターをトリア 4Xの充電専用ACアダプター差込口に差し込み、電源コンセントにつなぎます。
2. トリア 4Xの充電中は電池マークが点滅します。
3. フル充電されると電池マークが点灯したままになりますので、充電専用ACアダプターを外します。トリア 4Xは、長時間コンセントに差し込んでおいても破損しません。

4. 注意点:トリア 4Xの破損を防ぐため、同梱されている充電専用ACアダプター以外は使用しないでください。充電専用ACアダプターを紛失された場合は、お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

注意点:レーザー脱毛器の充電はサイレントモード(冷却ファンの音がしない)で行うことができませんが、充電時間が長くなります。充電モードを変更するには、充電中に電源ボタンを押します。

テスト照射

他のスキンケア製品の場合と同様に、初めて新しい箇所のお手入れを行う前にテスト照射をし、異なる出力レベルを試されることをお勧めします。

1. お手入れ箇所を準備し、トリア 4Xの電源を入れるとレベル1(低)に設定されます。
2. 照射レンズを皮膚にぴったり当てて1回照射してみます。
3. レベル1に耐えられる場合は、別なテスト箇所に移動してレベル2に上げ、1回照射します。トリア 4Xのレベルを上下に調整するには、電源ボタンを押します(本書17ページ参照)。
4. レベル2に耐えられる場合は、別なテスト箇所に移動してレベルを1つずつ上げ、耐えられる最大レベルまで上げます。耐えられる最大レベルでのお手入れにより、最大限の効果が得られます。

5. 24時間様子を見て、テストした箇所をご確認ください。肌に異常がないようであれば、ご自分に合った出力レベルでお手入れを続けましょう。

肌の色に大きな変化があった場合(日焼け等により)は、テスト照射を再度行ってください。

⚠ 水疱(水ぶくれ)・火傷(やけど)・肌の色の变化等が起きた場合やテスト照射の結果について不確かな点がある場合は、トリア 4Xのご使用を中止し、お客様サポートセンターまたは医師にご相談ください。

毎回のご使用前に

お手入れ前の準備

1. お手入れする箇所からレーザー照射の妨げとなるメイクアップ、ローション、クリームなどを落とします。
2. お手入れする箇所の毛を剃ります。これによって表面の毛を取り除き、操作性が高まります。
3. お手入れする箇所の水気を拭き取ります。

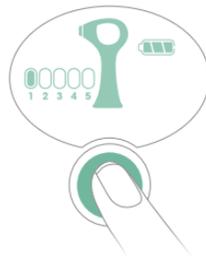
出力レベルの設定

トリア 4Xには複数の出力レベルがあります。臨床試験では、出力レベルを上げることで2~3倍効率の良いお手入れができました。そのため、可能な限り高い設定でのご使用をお勧めします。

トリア 4Xの電源をONにして電源ボタンを押して該当するレベルを選択します。電源ボタンを押すたびに、レベルが上がります。トリア 4Xが最大出力レベルに達した後に電源ボタンを押すと最も低いレベルに戻ります。

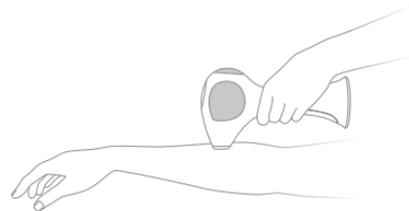
ご使用方法

1. トリア 4XをONにし、出力レベルを設定します (本書16~17ページ参照)。



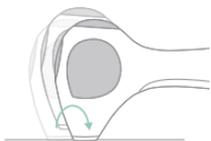
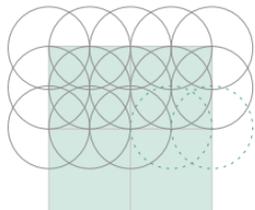
2. 「ピッ」の後に「ブッ」という音が聞こえるまで、照射レンズを肌に当てます。

- 「ピッ」という音が聞こえない場合は、照射レンズが皮膚にぴったり当てられていることを確認してください。レンズ全体が皮膚に触れている場合に限り、照射されます。
- 照射が終了する前に照射レンズが皮膚から離れてしまうと、「ブッ」音ではない低く長い「ブー」という音が鳴ります。
- 最初の「ピッ」という音と、2回目の「ブッ」という音の間で照射レンズを移動しないでください。照射が中断し、効果が低下してしまいます。



3. 「ピッ」の後に「プッ」という音がしたら、照射レンズを一度肌から離して再度、前回の位置と一部重なる箇所に当てます。

- 照射レンズの位置を変更するたびに、レンズの半分程度の距離(約5 mm)を移動します。このように前回の位置と重ねて照射することで、すべての毛のお手入れをすることができます。



⚠ 同じ個所に何度も照射しないでください。照射レンズは照射のたびに、必ず前回の位置と一部重なっている新しい場所に移動します。同じ箇所に何度も照射すると不快感や皮膚の温度上昇が発生し、皮膚を傷つけることがあります。

4. 体の部位ごとに目的の照射回数に達するまで照射します。

トリア 4Xの照射カウンターを確認すると、最も正確で最適な効果が得られます。1回のお手入れで各部位ごとに必要な照射回数の目安を、右記の表に記載しています。

注意点: 脚や背中などの大きな箇所のお手入れには、前回の位置と一部が重なるようにして600回以上の照射が必要になることがあります。その場合はトリア 4Xを再度充電し、対象箇所のお手入れを完了するまで続行してください。

照射カウンターガイド*	1回のお手入れの目標照射回数	所要時間(分)
ワキ	片方100回	片方4~5分
ビキニライン	片方200回	片方8~10分
鼻の下	25回	2-3分
太もも	片方600回	片方25~30分
膝下	片方600回	片方25~30分

*照射回数と時間は目安です。

5. 電源ボタンを押して本製品の電源をOFFにします。

最長3ヶ月、2週に1度のお手入れを続けてください。必要に応じて追加のお手入れを行ってください。

注意点: 本製品を使用中に冷却ファンが作動と停止を繰り返すことがあります。故障ではありませんので、そのまま使用を続けていただけます。

男性のムダ毛ケアについて

トリア 4Xは男女問わずご使用いただけます。

男性のヒゲは、男性ホルモンの影響を多く受けるため、ほかの箇所と比べて毛が密集しています。その上、毛自体も太いため、黒い色に反応するレーザーも吸収されやすい傾向があります。

トリア 4Xをあごひげ部分に使用する際は強い痛みを感じる場合があります。出力は必ず最低レベルから試すようにしてください。

あごひげは成長スピードが速く、毛自体の生命力も強いいため、クリニック等で行われるレーザー脱毛でも10回~30回以上の照射が必要とされるといわれています。トリア 4Xにおいても長期的なケアを心がけましょう。あごひげの毛量が多ければ多いほど、実感しにくい傾向があります。

トリア 4Xをあごひげに使用する際の注意

- 強い痛みを感じやすいため、使用前・使用中・使用後に氷やタオルで冷やしながらお手入れを行ってください。
- 必ずテスト照射を行ってください。(本書15ページ「テスト照射の方法」参照)
- すぐの実感しにくい傾向があります。
- 長期的なお手入れを心がけてください。
- 毛が生えなくなる恐れがあります。将来的にヒゲをはやす必要がある箇所へのご使用はお勧めしません。

トリア 4Xのクリーニング方法

特にメンテナンスは必要ありませんが、トリア 4Xの各部、特に照射レンズをきれいに保ってください。

クリーニング方法

- トリア 4Xの電源がOFFになっていることを確認します。充電専用ACアダプターを、トリア 4Xおよび電源コンセントから外します。
- トリア 4Xと充電専用ACアダプターを清掃する際は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、照射レンズと本体外部を拭きます。照射レンズを傷つけないように注意してください。トリア 4Xの充電や電源を入れる前に、完全に乾いていることを確認してください。

⚠ 本体や充電専用ACアダプターを濡らしたりしないでください。本製品が湿ったり濡れたりした場合は使用せずに、お客様サポートセンターにご連絡ください。濡れたトリア 4X(またはACアダプター)を使用されますと、感電死や電気ショックの恐れがあります。

長期保管

本製品を長期間ご使用にならない場合でも、電池を長持ちさせるため3ヶ月に1度は充電してください。

リサイクル・廃棄方法

トリア 4Xにはリチウムイオン電池が内蔵されています。この電池は本体一体タイプであるため、電池のみの交換はできません。本製品をリサイクルまたは廃棄される場合は、適切に地域の規則に従ってください。詳しくはお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

お客様サポートセンターにお電話ください。

ご質問内容	考えられる原因	対応策
トリア 4Xの電源が入らない。	本体が充電されていない。	トリア 4Xを充電してください。(本書14ページ参照)
充電中に、ディスプレイの電池マークが点滅しない。	本体が正しく接続されていない。	充電専用ACアダプターがトリア 4Xとコンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。
	本体がフル充電されており、使用可能な状態です。	充電専用ACアダプターを、電源コンセントとトリア 4Xから外します。
トリア 4Xの充電を終えた後も、電池マークが「充電中」の状態になっている。	本体がフル充電されていない。	トリア 4Xを充電してください。(本書14ページ参照)

ご質問内容	考えられる原因	対応策
トリア 4Xを肌に当てても、何も起きない。	トリア 4Xが充電専用ACアダプターに接続されている。	トリア 4Xは、充電専用ACアダプターに接続されている時は機能しません。充電専用ACアダプターをトリア 4Xから外してください。
	照射レンズが肌に密着していない。	照射レンズが肌にぴったりと接触していることを確認してください。
	照射しようとしている箇所が小さすぎる、曲がっている、または骨ばっている。	皮膚を引っ張って平らにしてやり直します。照射レンズの周りのタッチセンサーが肌に触れていなければ、トリア 4Xは作動しません。
ディスプレイが高速で点滅している。	トリア 4Xが正しく作動していません。	お客様サポートセンターまでご連絡ください。

トリア 4Xの仕様

ご質問内容	考えられる原因	対応策
照射レンズにゴミや汚れが付いている。	トリア 4Xのクリーニングが必要です。	21ページのクリーニング手順を参照してください。汚れがとれない場合は、お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
トリア 4Xの照射位置を変えたとき、次のレーザーの照射まで時間がかかる。	室温が高い。温度の高い環境ではトリア 4Xの照射速度が遅くなる場合があります。	トリア 4Xを温度の低い環境で使用してください。
トリア 4Xが使用中突然止まってしまった。電源ボタンを押してもディスプレイがオフになって、ONにならない。	電池の充電が必要です。	トリア 4Xを充電してください。(本書14ページ参照)
トリア 4Xの使用中にファンが回っている。	正常な機能です。本体内部に熱がこもって負荷がかからぬようセルフチェックを行い、設定温度を超えるとファンが回ります。	そのままご使用ください。

レーザーの種類

ダイオードレーザー

レーザーのクラス

クラス 1

出力波長

810 nm

出力フルエンス (流束量)

7-20 J/cm²

充電専用ACアダプターの入力

100-240 V ~ 50-60 Hz、37 VA

充電専用ACアダプターの出力

5.0 V DC 3.0 A/2.3A

内蔵電池

LI-ION (リチウムイオン電池)

内蔵電池の充電可能回数

約500回

使用環境

 稼働温度:
5~30°C

稼働相対湿度: 15~95%(結露なし)

稼働大気圧: 700~1060hPa

 輸送および保存温度:
-20~50°C

輸送相対湿度: 0-95%(結露なし)

マーク一覧



警告マーク



CE マーク

トリア・ビューティお客様サポートセンター
customercare.jp@thebeautytechgroup.com
trialaser.co.jp

FCC(米連邦通信委員会)規格との適合性宣言の表示:この装置はFCC規格第18章に適合します。操作は以下2つの条件に従って行うものとします。(1) この装置が有害な妨害(電波)を発生しないこと。(2) この装置が意図しない操作を引き起こす可能性のある妨害(電波)を含む、あらゆる妨害(電波)を受け入れなければならないこと。

2007年6月24日付のレーザー産業への通達書に準ずる違反を除き、米国連邦規則第21条第1010章および第1040章に適合。